

【はっぴい はっぴい】

# Happy Happy

特集

新年のご挨拶

【トピックス】

「簡易睡眠検査」

「救急症例検討会」

「救急・手術医療体制」

ご自由にお持ち帰り  
ください



# 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。  
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

霧島記念病院 理事長・院長 平原 一穂

当院は昨年6つのプロジェクト(救急受入れ、地域連携、病床管理、病棟再編、生産性向上、医療職配置プロジェクト)が軌道に乗り、また新たに救命救急医、総合診療内科医、血管外科医を招聘して診療体制を刷新・充実させたことで、年間の外来患者数、入院患者数、救急搬送件数、紹介患者数とも例年を大幅に凌駕することができました。当院の職員の多大なる協力、地域の皆さまのご支援並びにご厚情があったから達成できたものと思います。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

当院は開院後50年近くが経過し、建物の老朽化が目立ち、耐震性にも不安があり、病院の移転新築が喫緊の課題として数年前から議論されてきました。しかしながら病院の収益性、ウクライナ問題、日本経済の停滞、自然災害の影響などで計画が思うように進捗しませんでした。

先述のごとく、昨年は6つのプロジェクトの成果が実り、『ホップ・ステップ・ジャンプ』の最初の『ホップ』を達成することができました。今年はさらにプロジェクトを有機的に発展させ、『ステップ』の1年とし、私達の夢の実現への足掛かりの年にしたいと思っています。

本年も救急医療を中心に、地域に信頼される安心・安全な質の高い医療を提供できるよう、職員一丸となって邁進したいと思いますので、何卒よろしくご指導、ご鞭撻をお願い致します。

# 睡眠時無呼吸症候群(SAS) 簡易検査のご案内

「眠気・いびき…それは病気のサインかもしれません」

## ●睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは？

- ・ 睡眠中に「無呼吸(止まる)」や「低呼吸(浅くなる)」を繰り返す病気です。
- ・ 睡眠の質が低下し、日中の強い眠気や集中力の低下、事故リスクの増加につながります。
- ・ 肥満・高血圧・糖尿病・心疾患・脳卒中など、生活習慣病との関係も深い病気です。

## ●睡眠と健康

- ・ 睡眠の役割:疲労回復、記憶の整理、ホルモンバランスの維持
- ・ 睡眠不足・質の低下は「眠気や疲労」だけでなく、肥満・高血圧・糖尿病・脂質異常などの原因にも。
- ・ 無呼吸により酸素が不足すると、臓器障害のリスクも高まります。

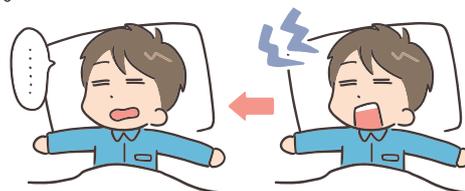
## ●SASの特徴

- ・ いびきを伴う「閉塞性SAS(OSAS)」が多い
- ・ 日中の強い眠気 → 居眠り運転・仕事や学業に支障
- ・ 重症例では交通事故リスクが健常者の7倍

## ●こんな症状はありませんか？

以下の症状が4つ以上当てはまる方はご相談ください。

1. いびきを指摘される
2. 夜中に何度も目が覚めトイレへ行く
3. 朝、喉が渴いている
4. 朝起きてても疲れが取れない
5. 日中の眠気が強い
6. お酒をよく飲む／飲みすぎる
7. お腹まわりが 男性85cm以上・女性90cm以上
8. 首が太い、姿勢が悪い
9. 下あごが小さい／歯並びが悪い
10. 鼻炎・扁桃肥大などで鼻や喉が狭い



## ●簡易検査のご案内

当院では ご自宅でできる簡易検査を行っています。

### 検査方法

- ・ 鼻と口に呼吸センサー
- ・ 指に酸素濃度センサー
- ・ 一晩就寝するだけで記録

### わかること

- ・ 10秒以上の無呼吸・低呼吸が1時間あたり何回あるか
- ・ 酸素濃度の低下の有無

### 検査後の流れ

解析結果をもとに、医師が診断・治療方針をご案内します。



◆お問い合わせ◆

霧島記念病院 TEL: 0995-47-3100



# 救急症例検討会開催

2025年10月23日当院で、数年ぶりとなる救急症例検討会を開催いたしました。本症例検討会は、地域医療における連携強化と医療の質向上を目的に実施しているもので、新型コロナウイルスの影響等によりしばらく開催を見送っておりました。今回は、院内会場とZOOM(オンライン)を併用して開催し、多くの関係者にご参加いただきました。

当日は、当院医師や看護師、コメディカルスタッフに加え、地域の消防局関係者の皆さまにもご参加いただき、久しぶりに顔を合わせて意見交換ができる貴重な機会となりました。会場は終始和やかな雰囲気、活発な議論が行われました。

## 症例を通して学ぶ、現場に即した検討

検討会では、実際に当院で対応した症例を取り上げ、救急搬送時の対応から診断、治療、その後の経過までを振り返りました。医師からは、症例のポイントや判断の背景について分かりやすい解説が行われ、参加者が理解を深められる内容となりました。

また、消防局の皆さまからは、救急現場での判断や情報共有についてご意見をいただき、病院側にとっても多くの学びがありました。参加の方からは質問が寄せられ、連携体制や課題について活発な意見交換が行われました。



## 地域連携と職員教育の場として

今回の症例検討会は、地域で患者さんを支えるための連携の大切さを改めて確認する機会となりました。それぞれの立場や役割を知ることで、よりスムーズで安全な医療につながることを期待されます。

また、若手職員にとっても、実際の症例をもとに学べる良い経験となりました。日々の業務に生かせる実践的な内容で、参加者からは「とても参考になった」との声も聞かれました。



今後に向けて

当院では、今後も救急症例検討会を継続的に開催し、地域の医療・救急体制のさらなる充実に努めてまいります。  
ご参加いただいた関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。



## 当院の救急医療体制

当院は二次救急告示病院として、24時間体制で救急医療に対応しています。2025年3月には新たに救急医療を専門とする救命救急医が加わり、診療体制がさらに充実しました。迅速で的確な判断が可能となり、救急受入件数の増加や応需率の向上につながっています。

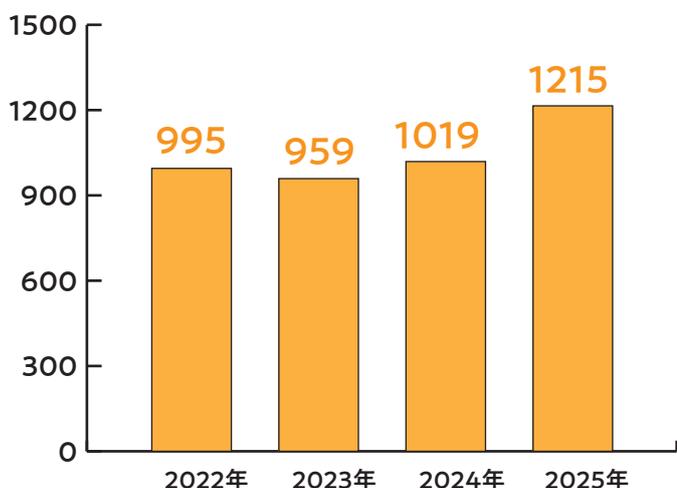
急な体調不良やけが、夜間・休日の救急対応など、医療が必要な場面は突然訪れます。そのような「もしも」の時に、安心して受診いただける病院であることを目指し、日々診療体制の充実に努めています。

2025年における当院の救急受入件数は1215件にのぼり、年々その役割は大きくなっています。高齢者の救急搬送をはじめ、外傷、急性疾患、持病の悪化など、多様な症例に対応してきました。救急外来では、医師・看護師・救急救命士・診療放射線技師・臨床検査技師等が密に連携し、迅速かつ的確な初期診断と治療を行っています。

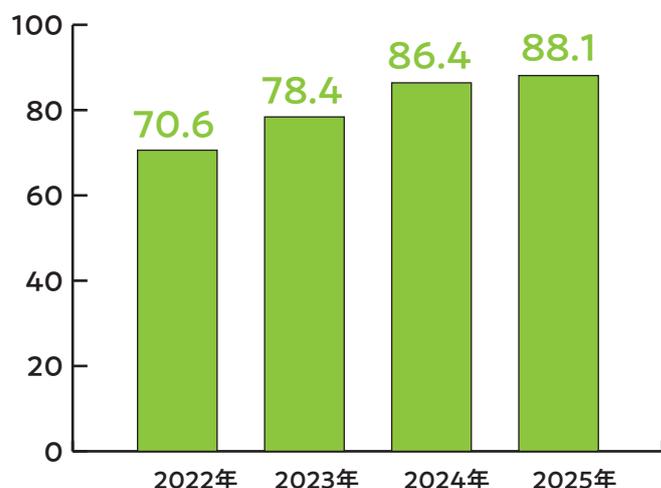
特に高齢化が進む地域においては、複数の疾患を併せ持つ患者さんも多く、全身状態を総合的に判断する力が求められます。当院では、救急対応後の入院治療からリハビリテーション、在宅復帰や転院支援までを見据えた医療を提供できる体制を整えています。

### 救急受入実績

救急受入件数(件)



応需率(%)



### チーム医療で支える、安心と安全

救急医療は、医師だけで成り立つものではありません。看護師、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師、リハビリスタッフ、医療相談員など、多職種が一丸となって対応することで、質の高い医療が実現します。当院では日頃から院内研修や症例検討を行い、緊急時にもスムーズに対応できる体制づくりを進めています。



## 手術実績が示す、確かな医療提供体制

2025年4月より新たに血管外科医が加わり、当院の診療体制はさらに充実しました。これにより対応可能な手術の幅が広がり、手術件数の増加にもつながっています。

当院では、救急医療と並び、手術医療においても安全性と質の向上に力を入れており、2025年の手術件数は276件に達しました。緊急手術から計画的な予定手術まで、幅広く対応しています。

手術において最も重要な「安全性」を確保するため、術前の十分な検査と説明、術中の厳格な安全管理、術後のきめ細かな観察とケアを徹底しています。患者さんやご家族が安心して治療に臨めるよう、わかりやすい説明と丁寧な対応を心がけています。

### 手術実績



### 術後まで見据えた医療とリハビリテーション

当院の強みは、手術後の回復期医療やリハビリテーションまで一貫して支援できる点です。手術が無事に終わることがゴールではなく、その後の生活の質(QOL)を高めることが重要だと考えています。リハビリスタッフと連携し、早期離床や機能回復を促すことで、患者さんの早期社会復帰や在宅復帰を支えています。

また、退院後の生活についても、医療相談員や地域連携部門が関係機関と協力し、切れ目のない支援を行っています。

## “ これからも地域に信頼される病院を目指して ”

救急医療、手術医療はいずれも、地域医療を支える重要な柱です。当院はこれからも医療体制の充実と職員の研鑽を重ね、地域の皆さまが安心して暮らせる医療環境づくりに貢献してまいります。

今後も全力で取り組んでまいります。



広報委員が選ぶ

# ベストショット Best Shot



撮影者：永田 翼

解説：秋頃に韓国岳に登ってみました。早朝から登り始め、この時期は鹿に会うことができました。写真は中腹あたりで見下ろした大浪池に雲溜まりができていたので、思わずシャッターをきったものです。霧島は四季で表情が変わるので散策におすすめです。

脳神経外科・整形外科・内科・血管外科・外科  
救急科・循環器内科・リハビリテーション科

医療法人 健康会  
**霧島記念病院**  
Kirishima Memorial Hospital

〒899-4322 鹿児島県霧島市国分福島1丁目5-19

TEL:0995-47-3100 FAX:0995-48-7312

HP <http://kirishima-memorial.jp/>

mail:[info@kirishima-memorial.jp](mailto:info@kirishima-memorial.jp)



## Access

- 九州自動車道溝辺空港インターより車で20分
- 東九州自動車道隼人東インターより車で5分
- JR国分駅より車で10分
- JR隼人駅より車で10分

